

【 第15回ガラス技術シンポジウム 】

----- 「第60回ガラスおよびフォトニクス材料討論会」 共催プログラム-----

ガラス産業連合会（GIC）運営・技術委員長 稲本 弘希

会員各位のご協力により毎年秋に開催しているガラス技術シンポジウムを、本年も日本セラミックス協会ガラス部会主催の「第60回ガラスおよびフォトニクス材料討論会(ガラス討論会)」との共催プログラムとして開催します。本シンポジウムでは例年同様、講演会とポスターセッションを行います。GIC招待講演では、会員企業の高い関心事である「ガラス溶融の熱マネジメント」をテーマに、企業側から2題、および官学側から先端研究・開発関連の2題のご講演を頂きたく、準備を進めております。

ポスターセッションは、情報交換と同時にニーズとシーズの出会いの場としてもご活用頂きたく、ガラス関連の広範な技術に関する発表、関連の製品の紹介をお願いしたいと考えております。

ガラス技術シンポジウムの開催概要は以下の通り計画しておりますが、ガラス討論会を含めた全プログラムは計2日間の開催とします。プログラムの詳細は後日公開（11月上旬）となりますが、国内外の産官学連携の場として、積極的なご参加をお願いします。交流を通じて現状と課題が共有され、関係者の理解が深まり、産官学の連携が強まることになれば幸いです。懇親会にもぜひご出席ください。本年も多数の皆様の積極的なご参加、ならびにポスター発表を賜りたく、ご案内申し上げます。

主催 ガラス産業連合会

共催 日本セラミックス協会ガラス部会

日時 2019年12月4日（水）、5日（木）

場所 大阪府立大学 I-siteなんば（大阪府大阪市）

（会場アクセス <https://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/about/map/>）

プログラム（予定）：GIC招待講演、ポスターセッション 12月4日（水）

13:00-16:00 : GIC招待講演 「ガラス溶融の熱マネジメント」をテーマに 4題

1. 大阪大学大学院工学研究科 赤松史光教授
「化石燃料の大量消費と環境問題を解決するためのエネルギーキャリア戦略
-水素社会の実現を目指して！-
2. 産業技術総合研究所 小原春彦様「産業分野における排熱の現状と未利用熱活用技術開発」
3. AGC セラミックス（株）小野泰史様「ガラス熔解窯における省エネの取り組み」
4. 日鉄エンジニアリング（株）高田 寛様、富岡 修一様
「日鉄エンジニアリングにおけるデジタル技術活用の取組み ～AI・IoTを用いた、
ごみ溶融炉「操業・保守」高度化～」

16:10-17:40 : ポスター掲示 企業等による製品・技術紹介(技術動向や技術課題の紹介を含む)

18:00-20:00 : 懇親会 大阪府立大学 I-siteなんば

ポスター発表及び口頭発表申し込み 下記ホームページより10月4日（金）までをお願いします。

講演要旨締切 下記ホームページの記載要領にて 10月25日（金）までをお願いします。

参加登録（GIC団体会員会社の方） 事前6,000円（11月8日（金）まで）、当日7,000円
懇親会登録 事前5,000円（11月8日（金）まで）

（発表申し込み、参加登録及び懇親会登録の事前手続き は下記ホームページより）

*第60回ガラスおよびフォトンクス材料討論会HP：

URL <http://www2.chem.osakafu-u.ac.jp/ohka/ohka2/60glass/index.html>

（お問合せ等は上記HP、或いはGICシンポジウムWG事務局：NGF種田までお願いします。）

以上